

三菱UFJフィナンシャル・グループ
株主の皆さまへ

第6期第3四半期(平成22年4月1日~平成22年12月31日)



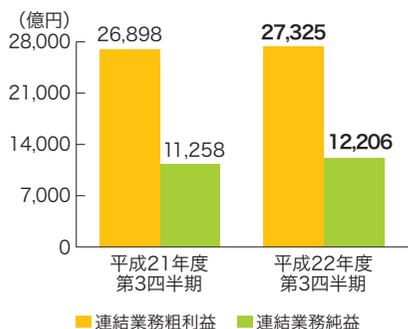
Quality for You 

MUFG

決算のポイント

- 連結第3四半期純利益(平成22年4月～12月)は、業務粗利益の増加に加え、営業費の減少および与信関係費用の改善などから、前年同期比3,347億円増益の5,518億円
- 貸出金は、国内法人貸出および海外貸出が減少したことなどから、平成22年9月末比0.9兆円減少。預金は、個人預金が引き続き増加した一方、国内法人預金が減少したことなどから、全体では平成22年9月末比3.5兆円減少
- 連結自己資本比率は、平成22年9月末比横ばいの15.24%

連結業務粗利益・連結業務純益



損益の状況

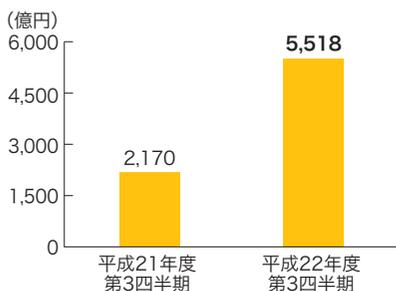
連結業務粗利益は、市場金利の低下や貸出金の減少に伴い資金利益が減少しましたが、債券売却損益など市場関連収益が大幅に増加したことなどから、前年同期比426億円増加の2兆7,325億円となりました。

営業費は、引き続きグループを挙げて経費削減に取り組んだ結果、前年同期比521億円減少の1兆5,118億円となり、経費率も50%台半ばまで改善しました。この結果、連結業務純益は前年同期比948億円増益の1兆2,206億円となりました。

与信関係費用総額は、企業倒産の減少を背景として、貸倒引当金繰入が減少したことを主因に、前年同期比3,789億円減少の2,488億円と大幅に改善しました。

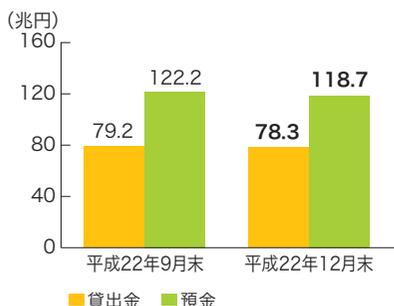
以上の結果、連結経常利益は前年同期比4,801億円増益の8,361億円、連結四半期純利益は前年同期比3,347億円増益の5,518億円となりました。

連結四半期純利益



(注)業績説明に使用している計数は、各々単位未満を切り捨てて表示しています。従って、表中のある項目の計数と他の項目を加減計算した結果とが一致しないことや、説明文中の増減数値とグラフ・表中の計数を加減計算した結果とが一致しないことがあります。

貸出金・預金

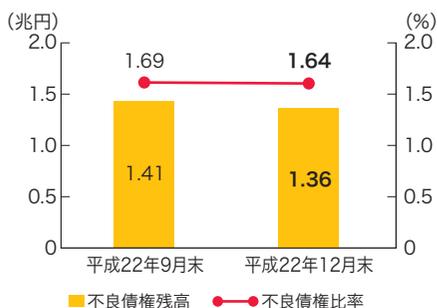


貸出金・預金の状況

貸出金は、資金需要の低迷により国内法人貸出および海外貸出が減少したことなどから、平成22年9月末比0.9兆円減少し、78.3兆円となりました。

預金では、個人預金は引き続き増加しましたが、国内法人預金が減少したことを主因に、平成22年9月末比3.5兆円減少の118.7兆円となりました。

不良債権残高・比率

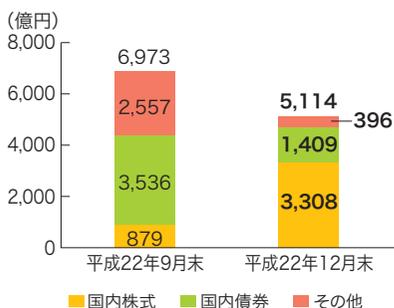


不良債権残高・比率の状況

不良債権残高*は、平成22年9月末比511億円減少の1.36兆円となりました。不良債権比率*は、平成22年9月末比0.04ポイント改善の1.64%となり、引き続き低水準を維持しています。

*三菱東京UFJ銀行と三菱UFJ信託銀行の2行単体合算

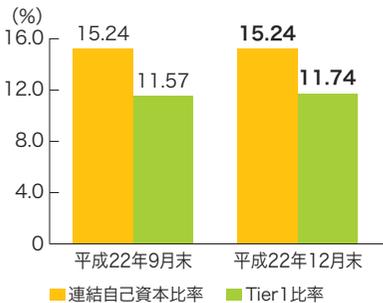
有価証券の含み損益



有価証券の含み損益の状況

有価証券の含み損益(その他有価証券評価差額)は、平成22年9月末比1,859億円減少し、5,114億円の含み益となりました。国債、外国債券の評価損益は悪化しましたが、株式相場の回復に伴い国内株式の評価損益が改善しました。

連結自己資本比率・Tier1比率



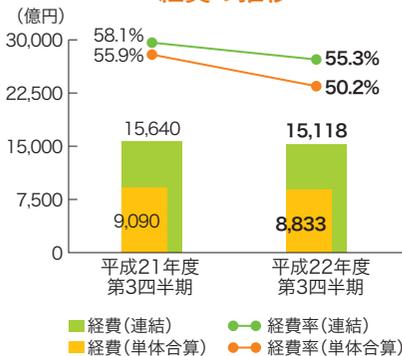
■ 連結自己資本比率・Tier1比率の状況

連結自己資本比率は、平成22年9月末比横ばいの15.24%、Tier1比率*は0.16ポイント上昇し11.74%となりました。

*株主資本(資本金・剰余金など)を中心とした中核的な自己資本の、リスク・アセットに対する割合

平成22年度第3四半期決算に関するQ&A

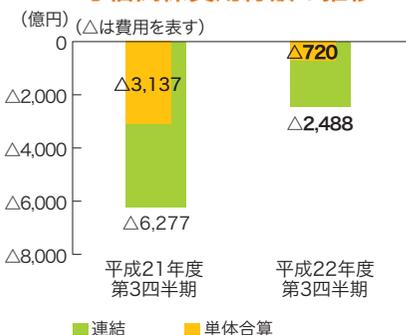
経費の推移



Q 経費(営業費)削減の状況について説明してください。

A 引き続きグループを挙げて経費削減に取り組んだ結果、経費は、三菱東京UFJ銀行と三菱UFJ信託銀行の2行単体合算で前年同期比257億円減少、連結では521億円の減少となりました。この結果、経費率もそれぞれ50.2%、55.3%と改善しました。これからも一層の経営効率化に取り組んでいきます。

与信関係費用総額の推移



Q 与信関係費用総額の改善状況について説明してください。

A 与信関係費用総額は、三菱東京UFJ銀行と三菱UFJ信託銀行の2行単体合算で前年同期比2,416億円改善の720億円となりました。国内外における大口与信費用の減少や企業の倒産の減少が主な要因です。連結でも子会社のユニオンバンクなどの費用減少が加わり、前年同期比3,789億円改善の2,488億円となりました。

損益の状況(連結)

(単位：億円)

	平成21年度第3四半期 (平成21年4月～12月)	平成22年度第3四半期 (平成22年4月～12月)
連結業務粗利益 (信託勘定償却前)	26,898	27,325
資金利益	16,511	14,964
信託報酬+役務取引等利益	7,934	7,792
特定取引利益+その他業務利益	2,452	4,567
営業費	15,640	15,118
連結業務純益 (一般貸倒引当金繰入前・信託勘定償却前)	11,258	12,206
臨時損益(△は費用)	△ 6,317	△ 3,960
うち与信関係費用	△ 4,897	△ 2,664
うち株式等関係損益	△ 200	△ 238
経常利益	3,560	8,361
特別損益	89	198
法人税等合計	986	2,778
少数株主利益	493	262
連結四半期純利益	2,170	5,518
与信関係費用総額(△は費用) 与信関係費用(信託勘定)+一般貸倒引当金繰入額+与信関係費用(臨時損益内) +貸倒引当金戻入益+偶発損失引当金戻入益(与信関連)	△ 6,277	△ 2,488

資産・負債の状況(連結)

(単位：億円)

	平成22年9月末	平成22年12月末
資産の部	2,063,808	2,026,423
うち貸出金	792,544	783,022
うち有価証券	700,531	654,098
負債の部	1,950,489	1,913,701
うち預金	1,222,687	1,187,588
純資産の部	113,319	112,721

連結自己資本比率の状況(第一基準)

(単位：億円)

	平成22年9月末	平成22年12月末
自己資本比率	15.24%	15.24%
Tier1 比率	11.57%	11.74%
自己資本	134,216	134,164
Tier1	101,941	103,376
リスク・アセット	880,543	880,173

「家族安心信託」誕生

平成22年11月、三菱UFJ信託銀行と三菱東京UFJ銀行は、遺言によるさまざまな資産承継ニーズにお応えする新商品「家族安心信託」の取り扱いを開始しました。

「家族安心信託」は、遺言信託と組み合わせてご利用いただくことにより、大切な資産を、相続が発生したときに一括ではなく、最長30年にわたり分割してご家族などが承継できる信託商品です。「配偶者には生前と同じく、生活費として一定額を定期的に渡したい」「資産管理に不慣れな家族に、多額の資産を一括して渡すのは不安だ」など、資産を分割して引き継がせたいというお客さまの声を踏まえて、両社で共同開発しました。

これからもお客さまのニーズにお応えする商品をご提供していきます。



各種申込書にユニバーサルデザインを採用

三菱東京UFJ銀行は、ユニバーサルデザインに基づいて両替依頼書などの申込書を全面的に改訂します。ユニバーサルデザインとは、年齢や身体的状況などの違いによらず、より多くの方が使いやすいようつくられたデザインです。

改訂後の申込書では、見やすくわかりやすい字体を使用するとともに、申込書のサイズを大きくし、お客さまの記入スペースも広げます。また、申込書の色には、高齢者や色弱の方にも見やすいユニバーサルカラーを採用。NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構から、邦銀では初めて、申込書でCUD認証*を取得しました。平成23年度末までに申込書の約8割を改訂していく計画です。



*色弱の方にも一般色覚の方と同様に情報が読み取れるよう配慮したデザインなどに与えられる認証

三菱東京UFJ銀行 英国銀行のプロジェクトファイナンス資産を取得

平成22年12月、三菱東京UFJ銀行は、英国銀行ロイヤルバンク・オブ・スコットランドのプロジェクトファイナンス資産33億ポンド(約4,300億円)について、同行と売買契約を締結しました。

プロジェクトファイナンスとは、石油・ガス・鉱物資源等の開発や発電所・道路等の社会基盤建設などの資金調達に利用され、その事業から生み出される資金を返済原資とするファイナンス手法の総称です。

MUFGグループは、米州において、プロジェクトファイナンスの組成額ランキングで第1位となっていますが*、今回の契約を通じて、より大規模な市場である欧州・中東・アフリカ地域でも、同業務の一層の拡大を図っていきます。さらに、こうした動きを成長著しいアジアなどグローバルに拡げることで、天然資源開発や社会資本整備の支援を通じた新興国経済の発展にも引き続き貢献していきます。



*Project Finance International誌 平成22年リーグテーブルより

MUFGグループ10社が就職説明会に初の合同出展

平成22年11月、MUFGグループ10社*は合同で、東京ビッグサイトにて開催された日本最大級の学生向け就職説明会イベント「日経就職ナビキャリアフォーラム」に出展しました。

MUFGグループでは、グループ各社別に採用を行っていますが、高度化・多様化する金融業界全般をより理解してもらうとともに、効率的な就職活動をサポートするため、今回初めて各社のブースを1箇所に集めた「MUFG特設エリア」を設けました。2日間で3,500名を超える学生の皆さまが訪れ、銀行、信託、証券、クレジットカード、資産運用などMUFGおよびグループ各社の業務への理解を深めてもらいました。



中央セミナー会場での説明会

*三菱東京UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行、三菱UFJモルガン・スタンレー証券、三菱UFJニコス、MUS情報システム、国際投信投資顧問、ジャックス、三菱UFJインフォメーションテクノロジー、三菱UFJファクター、三菱UFJリサーチ&コンサルティング

MUFGグループ各社では、地域社会の一員として、社員一人ひとりが地域の皆さまとのかわりを大切に、さまざまな社会貢献活動を行っています。その一例をご紹介します。

三菱東京UFJ銀行 金融経済の授業・支店見学会を実施

子どもたちに、お金の大切さや銀行の役割などへの理解を深めてもらいたいとの想いから、平成22年10月、広島支店では近隣の小学6年生を招き、支店見学会とともに金融経済の授業を行いました。このような授業・見学会を全国の各支店で行っています。



三菱UFJ信託銀行 フレンドサークルを開催

平成22年10月、名古屋・岐阜の支店など7拠点が、愛知県社会福祉協議会や岐阜市などとともに、愛知県内の児童養護施設の子どもたちと自然環境について学ぶ「フレンドサークル」を開催しました。小学生90名と社員70名が参加し、自然観察会を行い、稲刈りも体験しました。



三菱UFJモルガン・スタンレー証券 路面凍結対策に協力

豪雪地帯の札幌市では、冬季の路面凍結対策として交差点などに砂箱を設置し、市民による砂の散布を推進しています。札幌支店ではこの対策に協力し、砂箱を寄贈するとともに、支店前の交差点などで砂まきを行っています。



三菱東京UFJ銀行

クリスマス・サンタボランティアに参加

平成22年12月、三菱東京UFJ銀行の社員がクリスマス・サンタボランティアに参加しました。東京都千代田区にある企業が協同して毎年実施しているもので、サンタクロースに扮して近隣の保育園や高齢者の施設を訪れ、手作りのクリスマスプレゼントを配っています。



三菱UFJ信託銀行

ぶどう 葡萄農家への援農活動を実施

平成22年12月、受託財産部門の社員24名が山梨県の農家を訪れ、葡萄の剪定作業のお手伝いをしました。これは地域の大切な産業を次世代につなげたいとの想いを込め、高齢化や傾斜地での作業の厳しさなどから担い手不足に悩む葡萄農家の方々を支援するための活動です。



三菱東京UFJ銀行

配膳のボランティアに参加

ニューヨークオフィスでは、マンハッタン地域に住む高齢者の方々を支援する活動を行っているボランティア団体/Encore Community Servicesが運営する食堂で、昼食の配膳のお手伝いをしています。年間を通じて定期的に数名の社員が参加し、地域の方々との交流を深めています。



株主優待制度(「MUFG株主倶楽部」)のご案内

平成23年にご提供している株主優待制度の内容は以下のとおりです。ご優待サービスは、平成23年12月30日までご利用いただけますので、どうぞご活用ください。

1 ご優待サービス(個人株主さま向け)

対象となる
株主さま

平成22年9月30日時点で500株以上お持ちの株主さま

ご利用期間

平成23年1月4日～12月30日

1. 三菱東京UFJ銀行のスーパー定期1年物金利優遇
2. 三菱UFJ信託銀行のスーパー定期2年物金利優遇
3. 三菱UFJモルガン・スタンレー証券の国内株式等売買委託手数料割引
4. ワールドカレンシーショップの外貨(米ドル・ユーロ)両替レート優遇
5. 三菱UFJ信託銀行の遺言信託取扱手数料(新規作成時)割引
6. 三菱UFJ不動産販売の不動産仲介手数料割引
7. 三菱UFJ信託銀行の「資産の健康診断サービス」手数料割引

上記ご優待サービスのお申込方法、ご利用方法などの詳細は、平成22年12月中旬にお送りした「ご優待サービスご利用ガイド2011」をご覧ください。

2 ピーターラビット™オリジナルグッズプレゼント

対象となる
株主さま

平成22年9月30日時点で100株以上お持ちの株主さま



グッズのお届け時期について

お申し込みをいただいた株主さまへのグッズの発送は、3月下旬から4月中を予定しています。今しばらくお待ちください。

多くの株主さまからお申し込みをいただき、誠にありがとうございました。

MUFGグループ会社のご紹介

今回は、ご優待サービスをご提供しているMUFGグループ各社のなかから、次の2社をご紹介します。

€ ¥ \$ ワールドカレンシーショップ

ワールドカレンシーショップは、株式会社東京クレジットサービスが運営しているMUFGグループの外貨両替専門店です。

駅の近くを中心に全国で31店舗を展開しています。取扱通貨は、米ドル・ユーロはもちろん、韓国ウォンや中国元など18通貨と豊富。15時以降や土日・祝日に開いている店舗もあり大変便利です。お勤め帰りやお買い物のついでに、お気軽にご利用ください。

Money Exchange



外貨両替

三菱UFJフィナンシャル・グループの外貨両替専門店
ワールド カレンシー ショップ
WORLD CURRENCY \$ HOP

モバイルから検索



URL <http://www.tokyo-card.co.jp/wcs/>

三菱UFJ不動産販売

三菱UFJ不動産販売株式会社は、全国に40店舗を展開するMUFGグループの総合不動産流通会社で、居住用不動産の仲介や投資・事業用不動産の仲介を行っています。

同社では、ホームページ「住まい1」を平成23年2月にリニューアル。今まで以上に簡単、スピーディーに不動産の最新情報をご覧いただけます。また、ホームページ内の「マイページ」から会員登録をされたお客さまには、新着物件の情報などをメール配信しています。

きっとみつける、あなたの住まい

住まい1.com
sumai1.com

パソコンから検索

住まい1

検索

モバイルから検索



URL <http://www.sumai1.com/>

グループメッセージについて

MUFGグループは「Quality for You」を
グループメッセージとして、
お客さまとのさまざまな
コミュニケーションの場で展開していきます。

Quality for You

このメッセージには、
「『質』の高いサービスのご提供を通じて、
お客さま一人ひとりの生活や一社一社の事業の
『質』の向上をお手伝いしたい。
そして、こうした活動を通じて
地域・社会の発展に貢献していきたい」
という私たちの想いを込めています。

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ

〒100-8330 東京都千代田区丸の内2-7-1

電話03(3240)8111(代表)

URL:<http://www.mufg.jp/>

株式に関するお手続きについてご不明な点などがございましたら、
以下の株主名簿管理人の連絡先にお問い合わせください。
三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部テレホンセンター
電話:0120-232-711(通話料無料)
(受付時間 土・日・祝祭日を除く9:00~17:00)